

さぎようぎのお父さん

千葉県 市原市立有秋南小学校二年 金子 瑠奈

わたしのお父さんは、らっ花生のう家です。いつも、いっしょうけんめいに、おしごとをしています。

そんなお父さんは、いつも、さぎようぎです。

はたけに行くときも、さぎようぎです。はいたつに行くときも、おかいものに行くときも、さぎようぎ。大人のあつまりでも、学校におむかえにくる時もさぎようぎです。

学校のポップコーンばたけを作りにきた時も、さぎようぎでした。

ウンボーや、トラクターにのつて、ポップコーンばたけを作ってくれました。

クラスの男の子たちは、いろいろなきかいにのるお父さんのことを、

「すごいなあー。」と、言っていました。

でも、わたしはさぎようぎをきているお父さんがはずかしくて近くに行けませんでした。

しごとがおわつて、家にかえつてくるとつかれたかおをしています。

そんなお父さんを見て、「お父さんは、いっぱいはたらいているんだなあ。」と思いました。

わたしは、いつもさぎようぎをきてがんばっているお父

さんに、シャツをプレゼントしました。こん色の夏っぽいシャツです。お父さんは、とてもよろこんでくれました。

でも、まだ二回しかきてくれません。わたしがなんできてくれないのか聞いたら、お父さんは、「とつておきのときに、きるんだよ。」と、言っていました。

わたしは、「とつておきつていつだろうなー？」と、思いました。お姉ちゃんも、お母さんも、

「いつだろうねえ。」と、わらっていました。

今日もお父さんは、いつものさぎようぎをきて、はたけに行きました。

あつい、あついばかりで、トラクターにのつてがんばっています。

「とつておきの日」は、まだきていないけれど、いつものさぎようぎをきてがんばっているお父さんを、わたしは、「お父さんはさぎようぎがとてもにあっているな。」と、思っています。

でも、いつもさぎようぎだから、たまには、とつておきのシャツをきてね。